

七ヶ浜町まち・ひと・しごと創生推進計画(地域再生計画)

令和4年度 中間評価

都道府県名	宮城県	事業実施主体	七ヶ浜町					
計画期間	令和4年度～6年度	地域再生計画名	七ヶ浜町まち・ひと・しごと創生推進計画					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	基本目標	指標(数値目標)	基準値	中間実績	最終目標値	中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
			令和2年度	令和4年度	令和6年度			
	基本目標Ⅰ 「日帰りリゾート」のポテンシャルを活かし、なりわいを創出する	指標1 公的機関の支援制度活用により町内で起業・創業した件数	0件	1件	3件	○		1件の支援制度の活用があったが起業の目標達成にまで至らなかった。今後、県及び町の支援制度の周知に努めたい。
	基本目標Ⅱ 関係人口を上げ、移住定住を促進する	指標2 本町への転入者数	544人	497人	600人	×		R2年度より47名減少し、R6年度の目標値を103名下回っていることから目標達成が難しい状況である。
	基本目標Ⅲ 人材育成を充実させ、子育ての希望につなげる	指標3 本町で子育てをしていきたいと回答する保護者の割合	93.00%	93.75%	95.00%	○		もともと数値が高いのは、小さい町でもあることから、保健師が乳児家庭全戸訪問等、住民に寄り添い、きめ細かなケアと顔と顔が見える付き合いをしているからである。子育てについてのアンケート結果の数値はわずかに上昇したが、引き続き目標達成を目指したい。
基本目標Ⅳ 顔が見えるコンパクトな関係を築き、地域の安全・安心を確保する	指標4 地区の防災訓練参加人数	2,170人	1,617人	2,550人	×	コロナ禍であったため、町内21地区中、8地区が中止し、その他の地区でも規模を縮小して実施するなどやむを得ない状況下であった。今後は訓練が再開され、参加者は増える見込みであり、引き続き目標達成を目指したい。		
②評価方法	外部評価メンバーによる最終目標値における中間評価・検討等を行った。							
③中間評価の公表方法	七ヶ浜町のホームページに掲載							
④総合評価と今後の方針等	<p>地域再生計画の4つの基本目標は、令和4年度時点で目標には達していない。</p> <p>目標を達成するためには、一つの分野だけでなく、様々な分野においての相乗効果により、町全体の魅力アップにつながっていくものである。</p> <p>七ヶ浜町の根本的な課題である魅力づくりについて、まずは視点を変え、従来の既成概念を超える発想と取り組みが必要である。</p> <p>以下は、評価に係る有識者会議においての意見である。</p> <p>例えば、ウニなどの海産物の漁獲高が一定でない場合に、マイナスで捉えれば不安定で市場価値が危ういとなるが、プラスで捉えると希少価値が上がるようになるように、これまでマイナスとして捉えられていたことでも視点を変えると魅力に変えることができるというものだった。</p> <p><b>基本目標Ⅰ</b> なりわいを創出するためには、産業、観光分野等で魅力の再発見と発信のための戦略を考え、漁協、商工会、観光協会等関係団体が一体となった取り組み体制を築く必要がある。</p> <p><b>基本目標Ⅱ</b> 住んでみたいと思わせる七ヶ浜独自の魅力が必要である。七ヶ浜の最大の魅力は海であり、その魅力をどのように高め、発信していくかの戦略を考える必要がある。発信は町外だけでなく、町民へも必要であり、町民やインフルエンサーの力も借りて発信するのも一つである。</p> <p><b>基本目標Ⅲ</b> あゆみの会、見守り隊などの活動は、町全体で子どもを見守り、子育てをする環境に恵まれているということであり、小中学校が取り組む英語コミュニケーション力向上の授業での子どもへの好影響は他に例がない。発信する際は、七ヶ浜が子育てしやすいことを具体的にアピールすることで、他の基本目標にも波及していくものと考えられる。</p> <p><b>基本目標Ⅳ</b> 七ヶ浜は、人口の割に参加者数が多く、住民の意識が高い。福祉に携わる役場と住んでいる人々とが非常に密接にリンクしているというのが特徴である。地域の安心について下支えがある中で防災訓練が数値化され、わかりやすい。</p>							